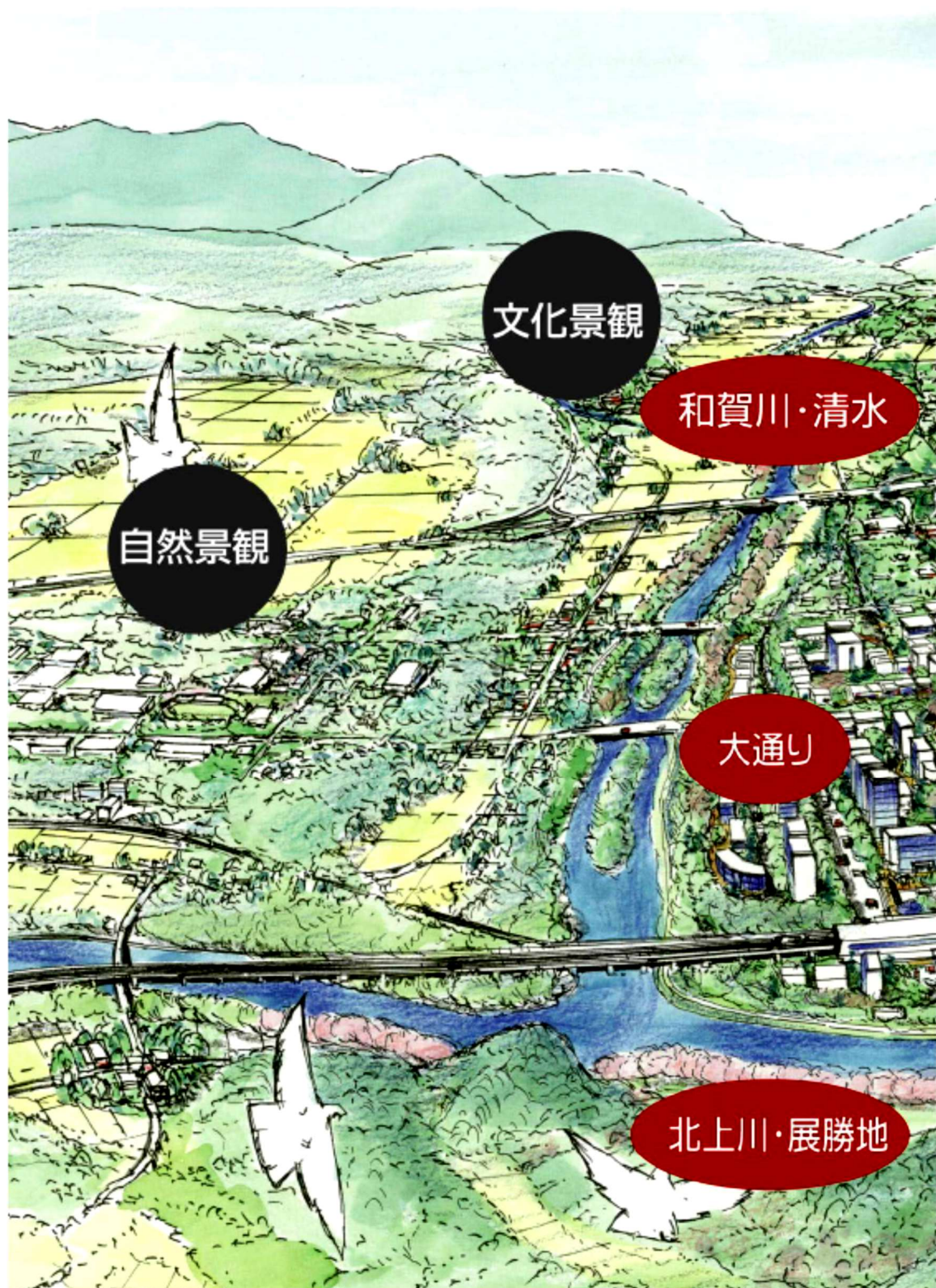


第 5 章 良好な景観形成のための配慮事項

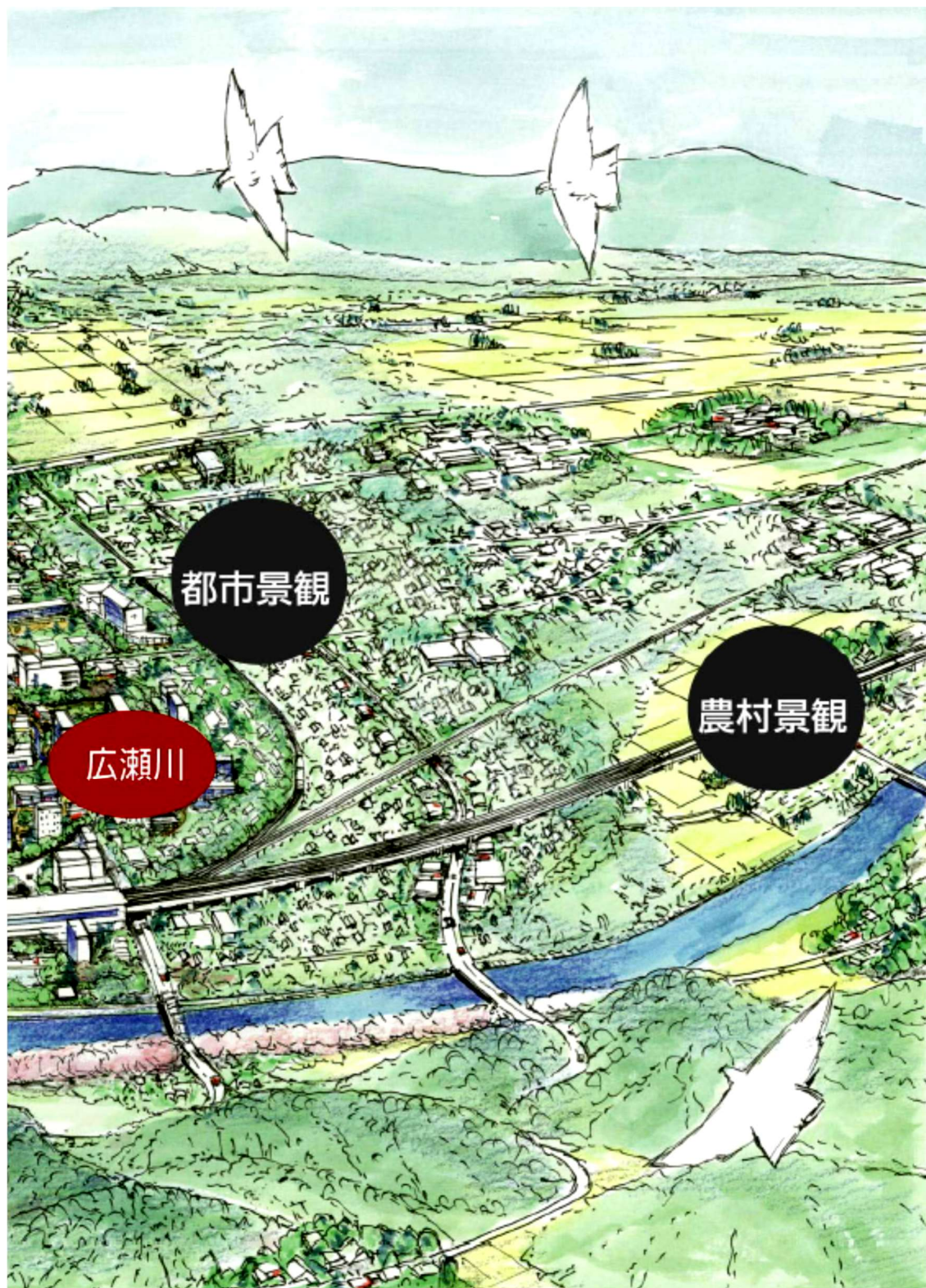
地域の特性を生かした景観形成を進めるためには、それぞれの地域の景観を特徴付けている要素を生かすような配慮や工夫が必要です。また、地域の景観と調和するような色彩を使用することによって、地域の景観に統一感が生まれ、より景観資源が引き立つようなまちづくりを行うことが可能となります。

ここでは、建築物を建てる際や景観を生かしたまちづくりを進める際などに気をつけること、工夫できること、またふさわしい色彩についてまとめています。



1. 景観類型・区域による配慮事項

地域の景観の特性によって、配慮するポイントは異なってきます。ここでは、景観類型別（文化、自然、都市、農村）と景観形成強化区域別（4区域）の、配慮事項を示します。また、それぞれの景観の一例や配慮されている例もあわせて紹介していきますので、参考にしてください。



●文化景觀／配慮事項

● 史跡

遺跡など歴史的な場所では、その雰囲気とともに、周辺部への空間の広がり大切に

●地域の河川

地域を代表する川などでは、
親水性を確保しながらその
空間の広がり大切にす

● 橋

周辺の山並みの眺望など、
視点場となり得る橋とその
周辺の景観を大切にする。

●屋敷林・樹木

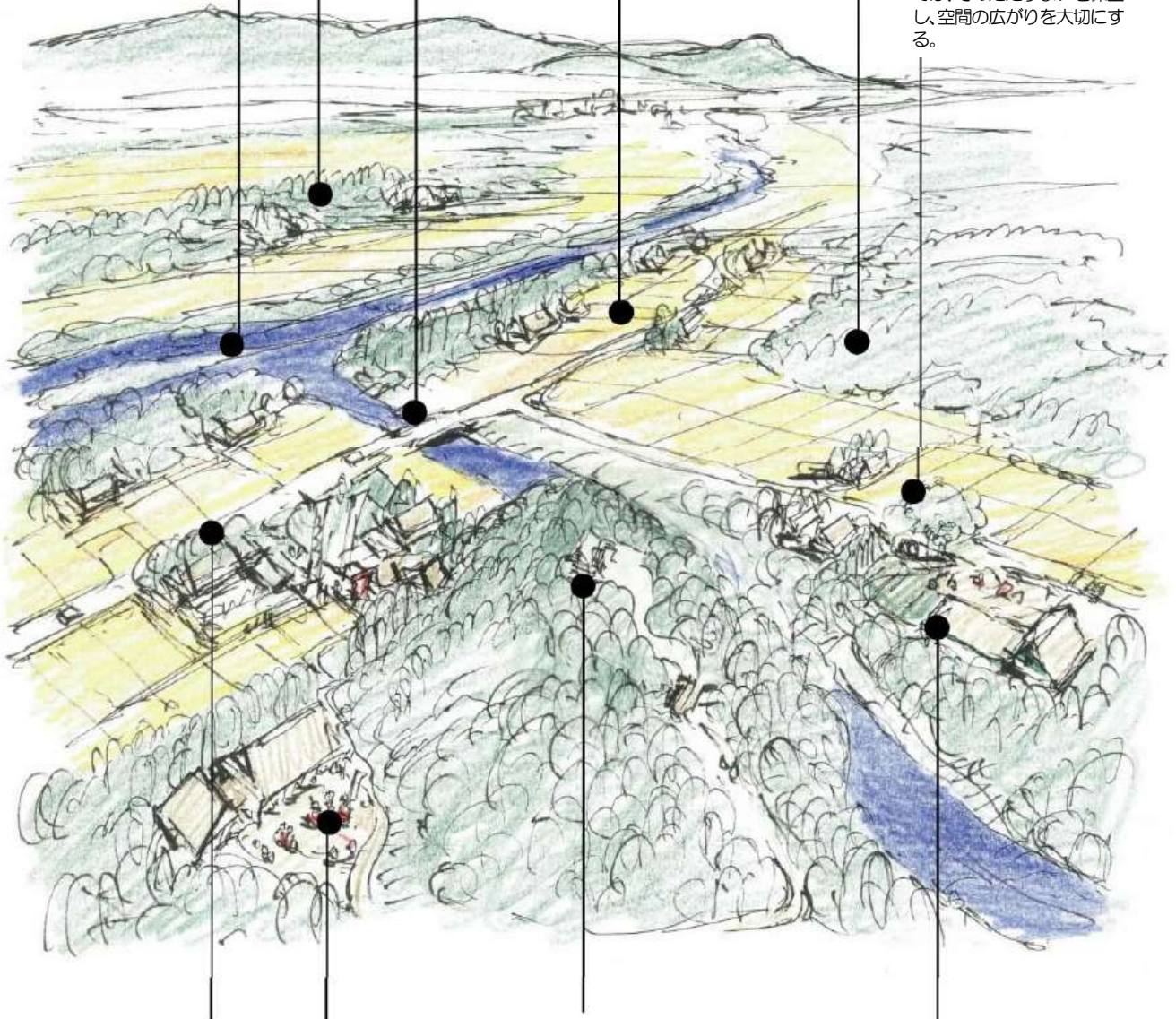
地域固有の屋敷林（えぐね）
やシンボルとなっている樹
木を大切にする。

●山・丘

伐採・採掘や建物の建設等
によってりょう線を分断し
ないように保全・修景に努
める。

●文学碑

歌碑や句碑、石碑等の周辺では、そのたたずまいを保全し、空間の広がりを大切にす
る。



●集落・道すじ

地域の暮らしや風習が感じられるような集落や通りのたたずまいを大切にする。

●地域シンボル

地域に親しまれている史跡や寺社等を大切にし、地域素材として生かす。

●民俗芸能

地域に伝わる民俗芸能や祭事が息づき、似合うたたずまいの保全・継承に努める。

●案内板・広告物

史跡及びその周辺では、落ち着いた色彩や劣化しにくい素材等、その場にふさわしいものとする。

●建物

史跡等歴史的な場所の周辺では、落ち着いたある形態や色彩に配慮する。

●文化景観の例



●北上川に架かる珊瑚橋と背景を彩る山々（川岸）



●藩境の歴史を感じる足軽屋敷群の屋敷林と桜（相去町）



●平安時代の歴史を伝える国見山からの眺望（稲瀬町）



●かつての奥州街道の道標である一里塚（成田）



●里修験の歴史を残す国指定文化財「多聞院伊澤家住宅」（和賀町岩沢）



●北上舟運の最後の渡し場である黒岩船場（黒岩）

●配慮の一例



史跡：竪穴式住居や配石遺構を復元し、縄文時代の文化を今に伝えています



建物：色彩や植栽に配慮し、史跡周辺の自然豊かな空間に調和しています



シンボル：公園内に、古墳群をイメージしたシンボルが造られています



民俗芸能：地域の伝統芸能が奉納され、歴史あるたたずまいを保っています

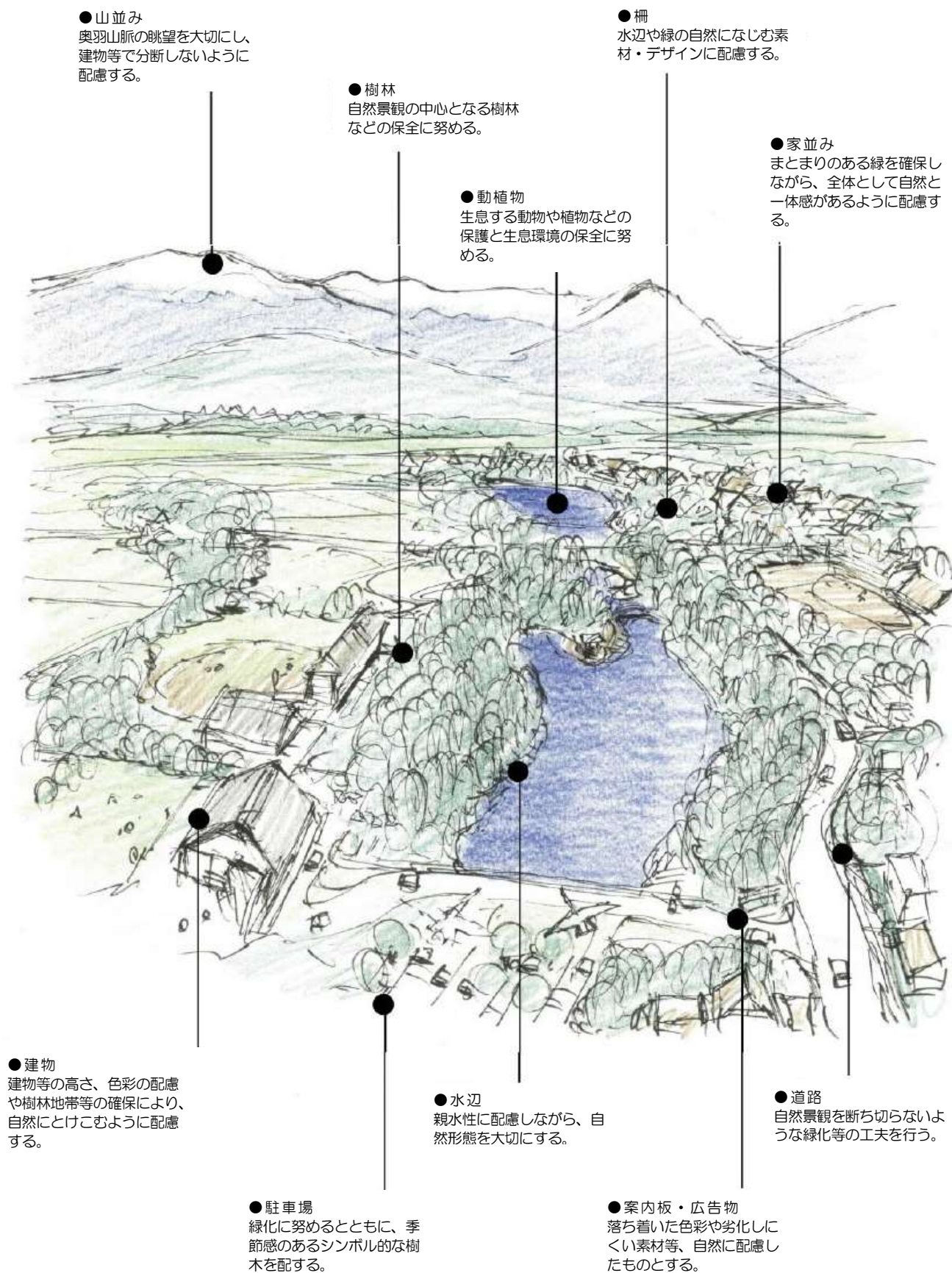


歌碑：素材やデザインを工夫し、たたずまいと空間を保全しています



案内板：史跡等に配慮した色彩・デザインを採用しています

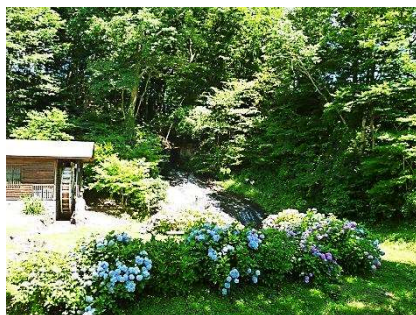
● 自然景観／配慮事項



● 自然景観の例



● 桜並木と奥羽山脈（下江釣子）



● 風情あふれる水車小屋と滝の流れを楽しむ親水公園お滝さん（黒岩）



● 巨木やヤマザクラが自生する白山の森（相去町）



● 国の天然記念物に指定されているニホンカモシカの生息地（立花）



● 道路沿いに彩りを添える紫陽花の花（和賀町長沼）



● 春の訪れを告げるミズバショウの群生（飯豊）

● 配慮の一例



水辺：環境整備等を行いながら自然形態を大切にしています



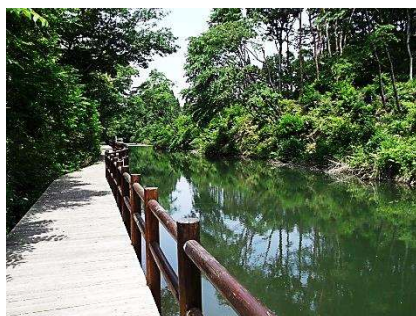
建物：塀に自然素材を使用し、周辺の自然に溶け込んでいます



駐車場：桜の木が季節感ある景観を醸し出しています



家並み：樹木のまとまりを確保し、自然との一体感を保っています

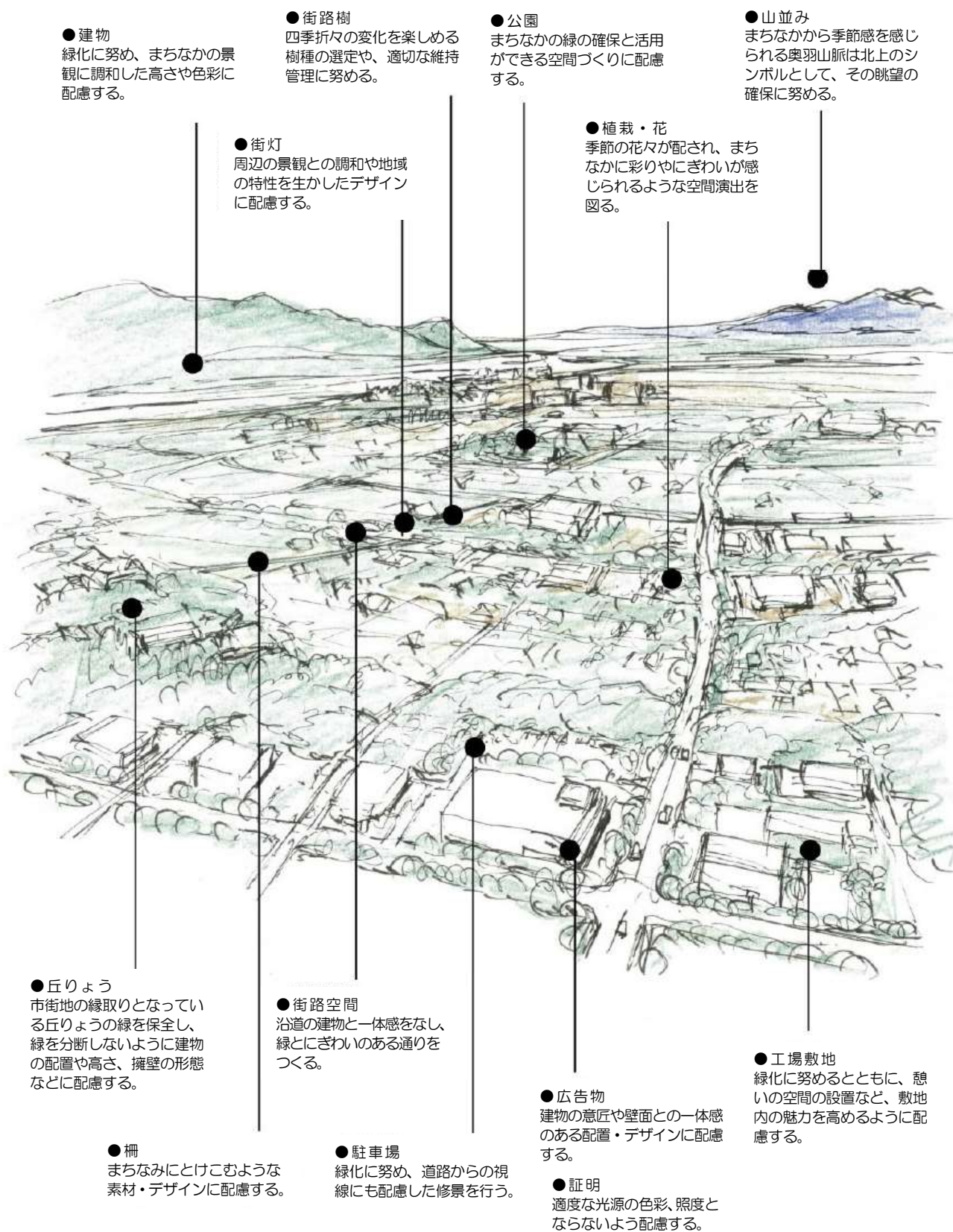


柵：自然景観になじむデザインと素材を使用しています



案内板：落ち着いた色彩や自然素材を使用し景観と調和しています

●都市景観／配慮事項



●都市景観の例



●まちなかに緑と季節感を呼び込む帰帆城公園（幸町）



●程良い光が周辺に優しい印象を与えてくれる照明と建物（青柳町）



●道路沿いに彩りを添え四季の変化を楽しめる桜並木（堤ヶ丘）



●市街地と奥羽山脈を一望できるてんぼう公園（常盤台）



●まちなかに彩りをそえてくれる建物周辺の植栽（中野町）



●まちなかの神社前にある風情感じる街灯（諏訪町）

●配慮の一例



建物：植栽やデザインに配慮し、まちなかに品のある景観を創りだしています



広告物：建物と一体感ある色彩やデザインを使用しています



工場敷地：植栽と憩いの空間を設置し、魅力ある空間を演出しています



柵：周辺や植栽に溶け込む素材を使用し、目隠しの役割も担っています



街路空間：周辺の緑化により、心地よい歩行空間を確保しています



駐車場：植栽を配置し、緑化や通りからの視線に配慮しています

● 農村景観／配慮事項

● 山並み

遠望する奥羽山脈や国見山等、田園集落を取り囲む山並みの眺望を大切にします。

● 圃場

幸作の維持に努め、「ほによ」や「はせがけ」等、収穫期の地域固有の景観を大切にします。
また、除草剤の使用を控え、草刈などの手入れにより、畦畔やのり面の美化に配慮します。

● 丘りょう

斜面の緑を保全し、緑を分断しないように建物の配置や高さ、擁壁の形態などに配慮します。

● 地域のシンボル

地域に親しまれている館跡や城跡等の緑を保全し、周辺での調和に努めます。

● 集落

道沿いの家並みや地域の寺社など、一体的なたたずまいを大切にします。

● 道すじ

かつての道すじを生かしながら、農村らしいたたずまいを大切にします。

● 建物

落ち着いた形態や色彩に配慮します。

● 農作物

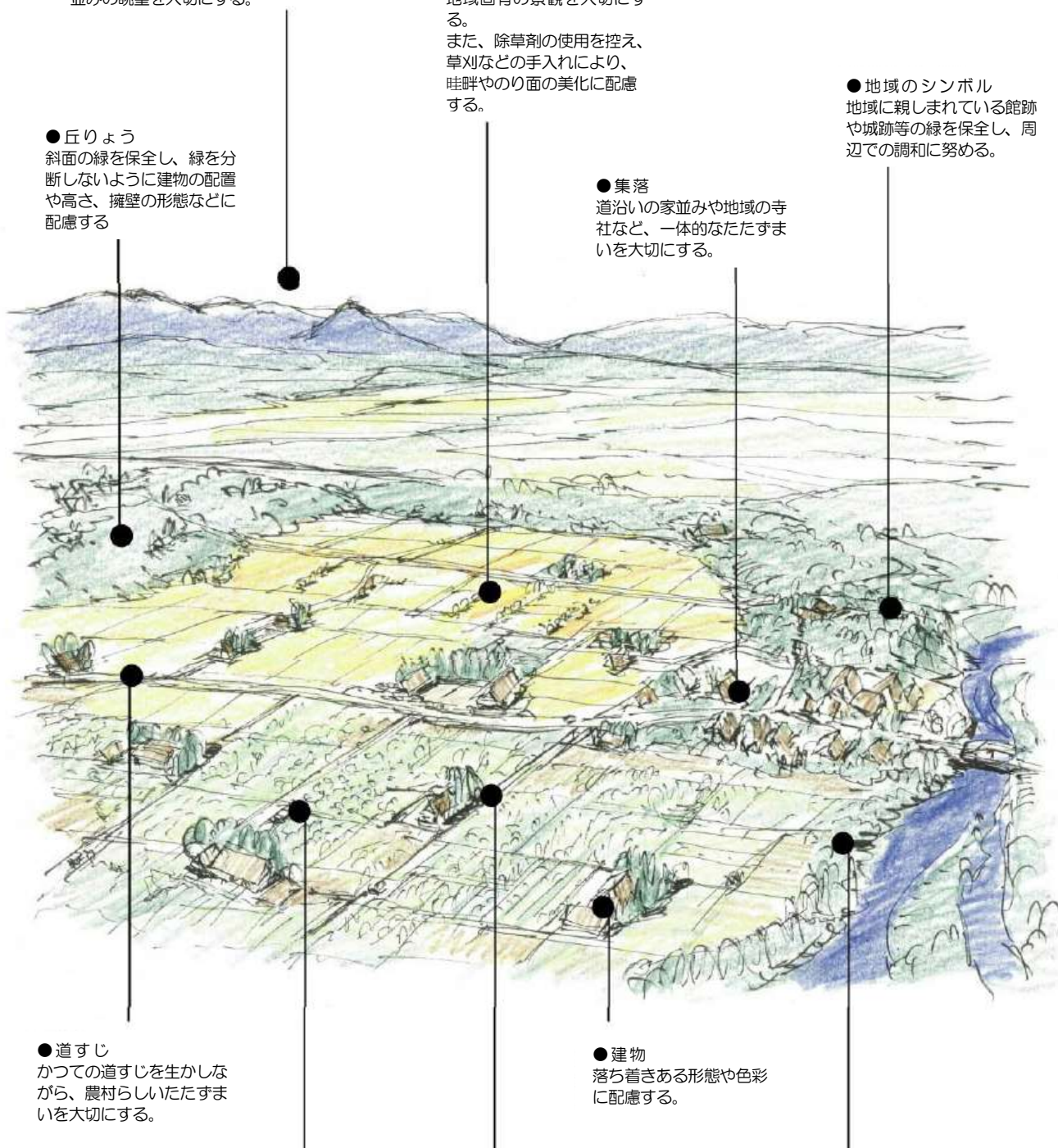
地域の特産であるいもの子やアスパラガスなどの畑の栽培景観を大切にします。

● 屋敷林

屋敷林（えぐね）など地域固有の屋敷景観を保全し、伝えるように配慮します。

● 川辺

河川周辺の緑を保全しながら、小動物等の生息地の保全に配慮します。



●農村景観の例



●緑豊かな丘りょう（稲瀬町）



●地域の特徴が残る「ほによ」と「はせがけ」（口内町）



●収穫をむかえた田園風景と奥羽山脈（下江釣子）



●和賀氏ゆかりの地である岩崎城址本丸跡（和賀町岩崎）



●一面に広がる農作物の栽培風景（二子）



●田園広がる更木あづま海道（更木）

●配慮の一例



圃場：のり面の草刈によって田畑の良好な景観を保っています。



建物：農村風景になじんだ形態と色彩を意識した造りとなっています



川辺：周囲の緑を保全しながら水辺の環境整備に努めています



寺社：整備された花壇が彩りを添え、周辺の景観との調和を図っています



道：道路周辺の土手などに行き届いた手入れがされています。



屋敷林：屋敷林のたたずまいを保全し、周辺の田園風景を引き立てています

●北上川・展勝地／配慮事項

●眺望スポット

国見山や男山、陣ヶ丘からの眺望と視点を大切に、逆に眺望対象としても配慮する。

●案内板・広告物

歴史・自然環境にふさわしい落ち着いた風情のあるものとする

●奥羽の山並み

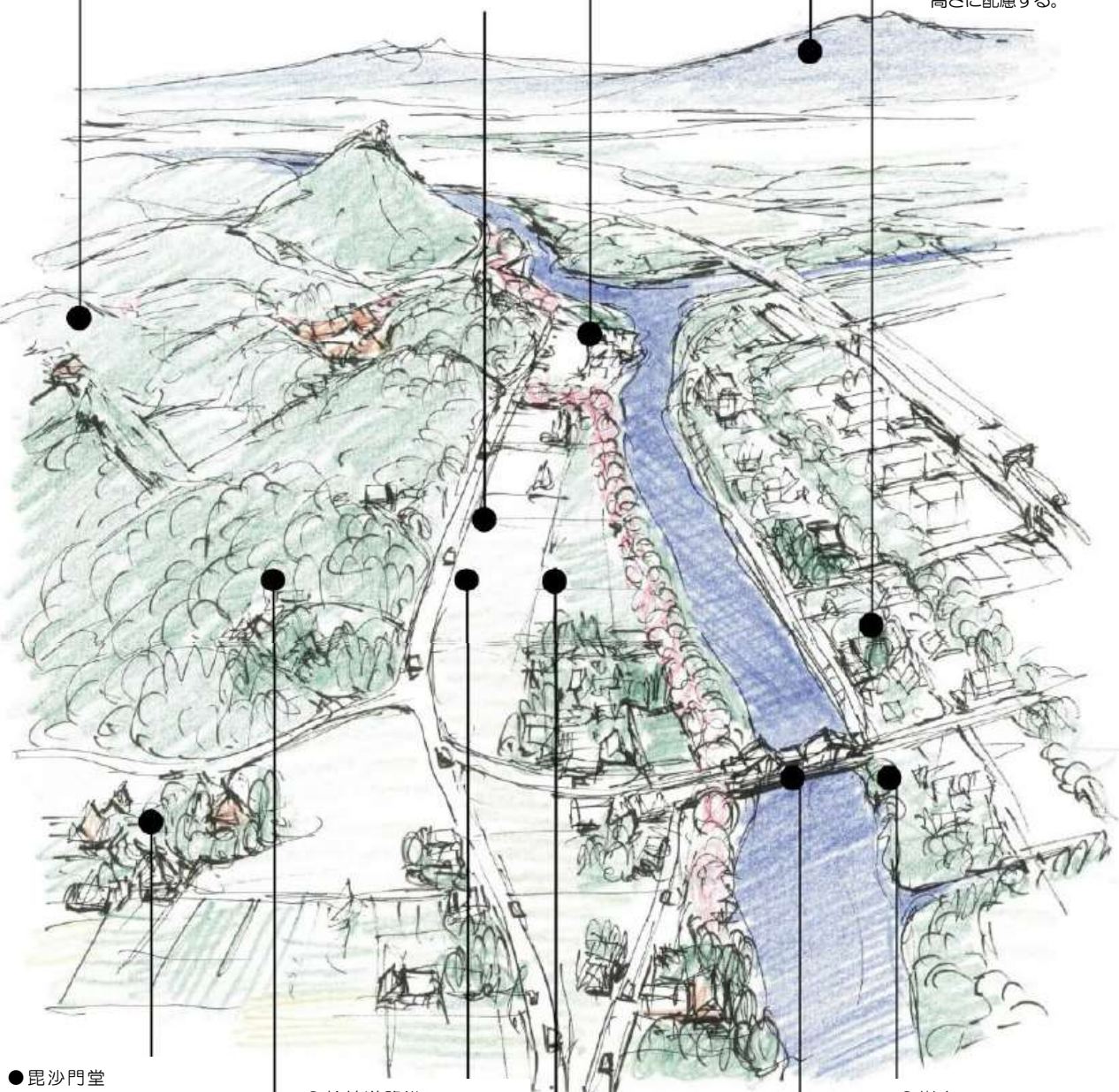
みちのくの背りょうとして連なる山並みを、自然豊かな眺望景観として大切に保全する。

●建物

北上川の広がりのある河川空間を確保するため、圧迫感を与えないような建物配置と、周辺になじむ色彩・高さに配慮する。

●駐車場

景勝地の駐車場として、緑化に努め、季節感のある樹種に配慮する。



●毘沙門堂

地域の歴史的資源として、周辺の建物等においてはゆとり空間の確保、意匠や色彩に配慮する。

●幹線道路沿い

景勝地を抜ける道路沿いの十分なゆとり空間を確保する。

●樹木

敷地内の樹木を大切に保全する。

●里山

今ある緑豊かな里山の景観の保全に努める。

●建物

対岸からの眺望に対し、国見山等のりょう線を分断しないように配慮する。桜並木や周辺の史跡と調和した高さや、色彩・素材に配慮する。

●珊瑚橋・桜並木

地域や市民のシンボルとして、眺望場所、眺望対象として大切にする。

● 景観の例



● 山並み連なる奥羽山脈



● 春をむかえた展勝地の桜並木と珊瑚橋



● 男山から見る北上川と和賀川の合流地点



● 国指定の重要文化財を守る緑に囲まれた立花毘沙門堂



● 県道沿いから見る立花の里山風景



● 古民家の移築・復元により、かつての暮らしを伝えてくれるみちのく民俗村

● 配慮されている例



駐車場：植栽により周辺の樹林地に馴染むよう緑化に努めています



案内板：文化財施設に配慮した形状と色彩を使用しています



建物：対岸の景色を損なわないよう高さや色彩に配慮しています



建物：周辺の落ち着いた景観に配慮した色彩・外観になっています



樹木：植樹等を行い、敷地内の樹木の保全に努めています



道路：十分なゆとり空間の確保し、圧迫感を軽減しています

●和賀川・清水／配慮事項

●桜づつみ

自然豊かな水辺空間と一体になって連なる桜並木の良好な保全に努める。

●橋

周囲を見渡せる眺望場所として大切にする。

●奥羽の山並み

みちのくの背りょうとして連なる山並みを、自然豊かな眺望景観として大切に保全する。

●圃場

広がりのある空間を保全するため、耕作の維持に努めるほか、草刈などの手入れにより、畦畔やのり面の美化に配慮する。

●せり田

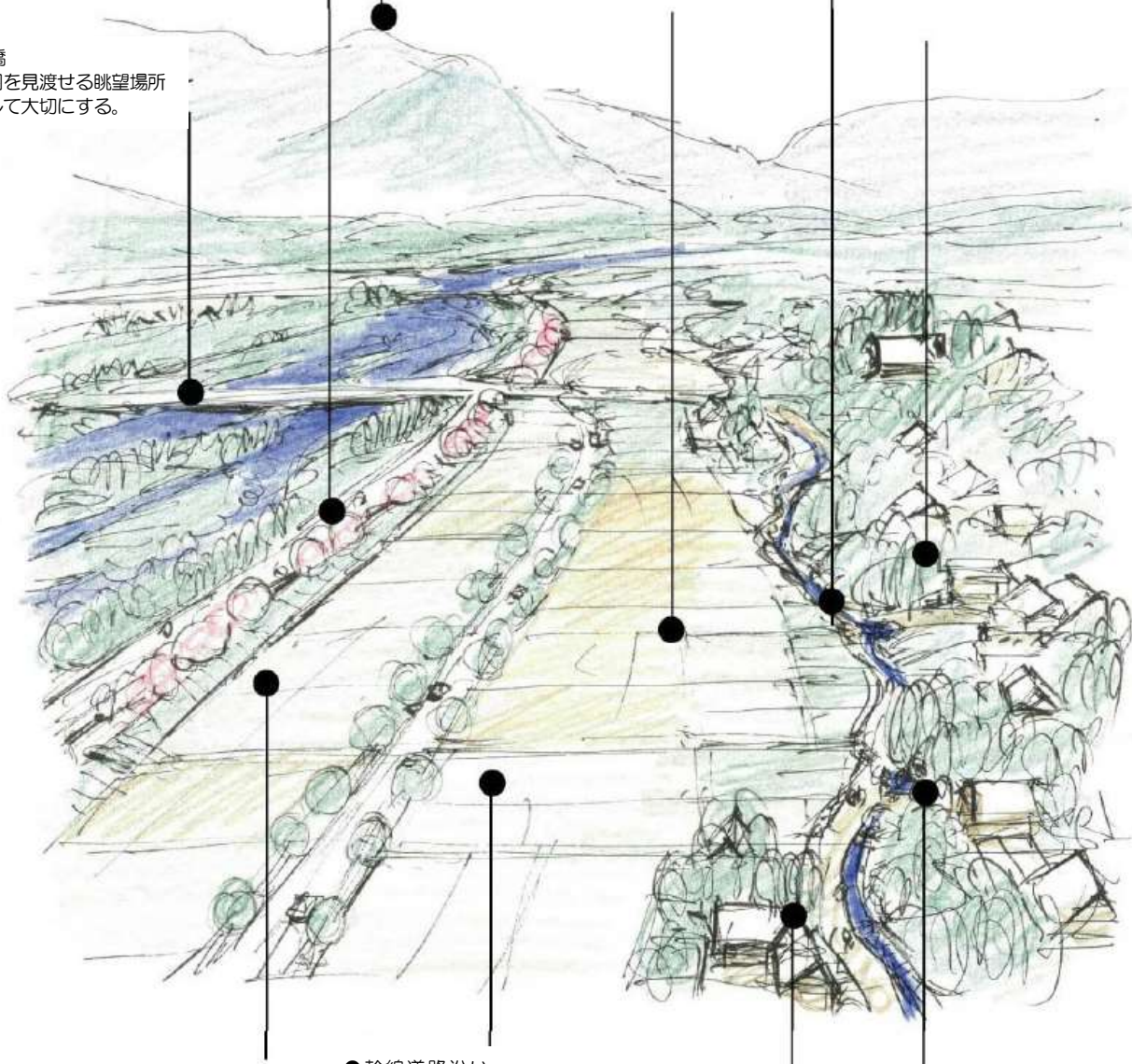
清水を利用したせり田を保全するとともに、地域の景観作物として生かすように努める。

●小みち・せせらぎ

清水をつなぐ小みち・せせらぎは自然な素材や色彩に配慮する。また、せせらぎの音や水草などの植物の保全に努める。

●樹木

清水周辺の樹木の保全に努める。



●和賀川周辺

広がりのある自然な河川空間を大切に、区域内のすぐれた眺望を確保するため、建物の高さ、色彩等に配慮する。

●幹線道路沿い

道路への圧迫感や山並みの眺望を大切にするため、道路沿いの十分なゆとり空間を確保する。

●建物

清水と隣接する場合は、十分なゆとり空間を確保し、周囲になじむ意匠・素材・色彩に配慮する。

●案内板・広告物

清水の風情に似合うような大きさ、素材、色彩に配慮する。

● 景観の例



● 清水を利用したせり田



● 和賀川堤防沿いの桜づつみ



● せせらぎ沿いに美しく立ち並ぶ樹木



● 和賀川の豊かな流れと周囲の景観を見渡せる和賀新橋



● すず湧き出る佐野公園とぼんぼこ泉



● 収穫の秋を迎える一面黄金色の田園風景

● 配慮されている例



道路沿い：のり面などの手入れを行い、ゆとりある空間を造りだしています



案内板：清水周辺の風情に配慮した形状と素材にしています



山並み：自然豊かな山並みを分断しないよう、景観を保全しています



せせらぎと小みち：自然景観に溶け込む素材や色彩を使用しています



建物：周辺に馴染んだ色彩と素材を使用しています



和賀川沿い：環境整備され、快適な歩行空間と優れた眺望を保っています

●大通り／配慮事項

●屋上
屋上に設ける空調設備等は、通りから見えないように配慮する。

●外階段
建物の意匠と一体となるような構造・意匠にする。

●駐車場
殺風景にならないように、植栽や塀等により通りの連続性が保てるよう工夫を行う。

●建物
通りとしての一体感が醸しだせるよう、高さ、位置、色彩等に配慮する。

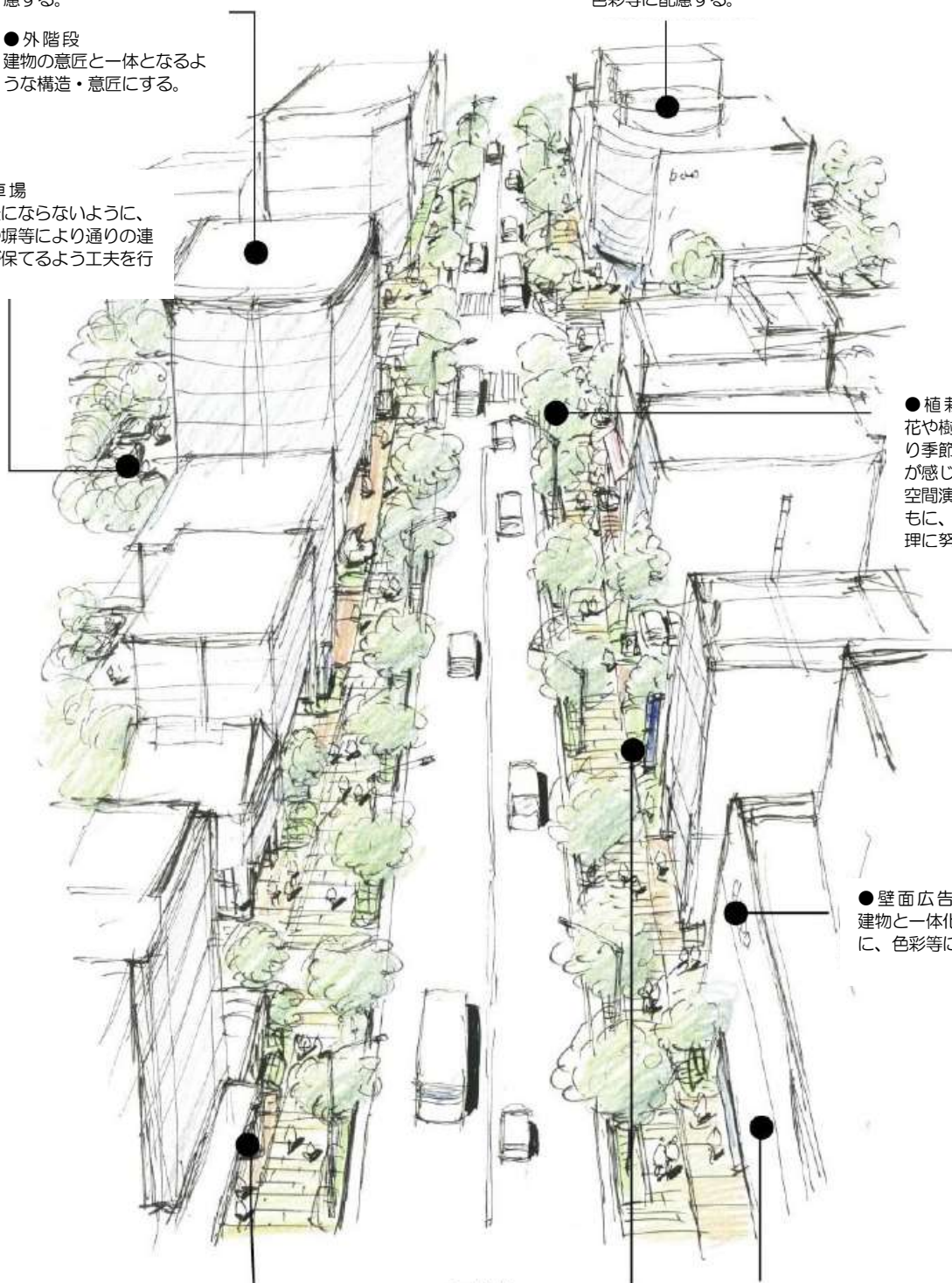
●植栽・街路樹
花や樹木の植栽により季節感やうるおいが感じられるような空間演出を図るとともに、適切な維持管理に努める。

●壁面広告
建物と一体化させるとともに、色彩等に配慮する。

●照明
安全。安心に配慮し、エントランスやアプローチ等に適切に照明を配置する。

●広告物
大通りの街路空間に調和した位置、大きさ、色彩等に配慮する。

●壁面位置
歩行者に圧迫感を与えないよう、壁面線を後退させ、緑化や花壇等による修景に努める。



● 景観の例



電線路の無いすっきりとした大通りの風景



通りに華やかさを演出する街路の花壇



エントランスや駐車場周辺を囲う植栽と塀



落ち着いた色合いが通りに一体感を生み出す建物と広告物



建物や周辺に彩りと潤いを与えてくれる植栽



安全に配慮されたマンションエントランスの照明

● 配慮されている例



壁面位置：ゆとり空間の確保と植栽により、快適な歩行空間が保たれています



屋上：通りから室外設備等が見えないように配慮されています



植栽：鮮やかな彩の植栽が、うるおいある景観を創りだしています



壁面広告：建物と一体化させ、色彩も配慮したものを使用しています



囲い：素材に配慮し、空調設備等がむき出しにならないようにしています



外階段：建物と一体となった造りになっています

● 広瀬川／配慮事項

● 店先

店先の演出やディスプレイが個性を放ち、楽しさや地域の情報発信を演出するような工夫を図る。

● 広告物・ネオン

にぎわいを意識しながら、せせらぎと建物を引き立てるような演出を図る。

● 駐車場

街並みがとぎれないよう、植栽や塀等により通りの連続性が保てる工夫を行う。

● 樹木

樹木をできるだけ保全し、木かげなどとして生かすように配慮する。

● 目印

通りのポイント、目印となるような場所では、通りの場所性を意識した演出等の工夫を図る。

● 建物

にぎわいを意識しながら、せせらぎを引き立てるような規模や色彩、植栽に配慮する。

● お宮・文学碑等

通りの歴史的な資源を保全する。

● いこいの空間

周囲の休憩施設等、景観に配慮したいこいの場となる空間づくりに努める。

● 住宅

通りに面した部分の植栽等により、通りのつながりに配慮する。

● 生け垣・塀

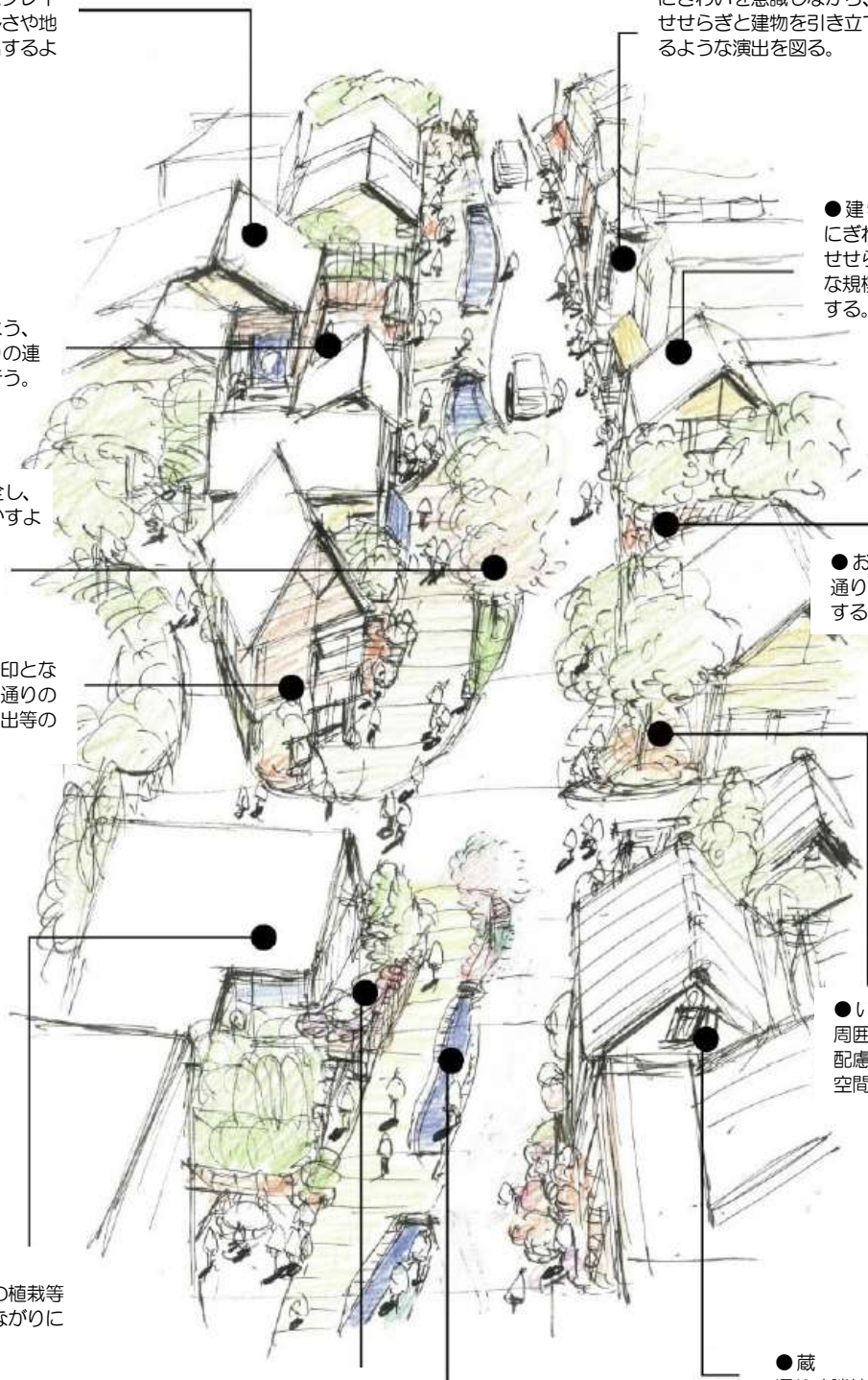
通りに面した部分は生け垣や花壇で演出するとともに、閉鎖的にならないように配慮する。

● せせらぎ

通りのシンボルとなるせせらぎを大切に、水辺の良好な環境を保全する。

● 蔵

通りや隣接するエリアの蔵を保全しながら、その活用を図る工夫をする。



● 景観の例



広瀬川せせらぎ上流のいこいの親水空間



まちの一角で今も大切に祀られているお宮さん



小みちに癒しと彩りを添えるせせらぎと花々



住宅と店舗が一体感を出しているせせらぎ通り



周囲に危険が無いように保全されている蔵



夜のにぎわいを見せる広瀬川せせらぎ沿いの飲食店

● 配慮されている例



万世橋：通りのポイントとして、植栽や街灯等に工夫が施されています



駐車場：通りからの視線に配慮しながら、連続性ある空間を保っています



樹木：色鮮やかな花と緑豊かな樹木が、せせらぎを引き立てています



店先：落ち着いた色彩や素材を外観に使用し、風情ある景観を生み出しています



生け垣：通りに面した部分に配置し、つながりを意識しています



建物：飲食店の賑わいを演出した造りとなっています

2. 色彩についての配慮事項

建築物等の色彩は、景観を構成する重要な要素のひとつであり、景観に与える影響は大きいものがあります。地域の特性が生かされ、調和した色彩によって構成された景観は、そこに住む人に心地よさをもたらす、訪れる人に好印象を与えることにもつながります。ここでは、それぞれの地域の特性に応じた望ましい色彩について紹介しますので、建築物等の色彩を計画する際の参考にしてください。

● J I S 標準色票について

本計画書では、J I S（日本工業規格）標準色票を用いて色彩を表しています。

標準色票は J I S Z 8721「色の表示方法—三属性による表示」に基づいて作成された色票で、国際的な色彩の尺度であるマンセル表色系を採用しています。

● マンセル表色系について

マンセル表色系は、色彩を「色相」、「明度」、「彩度」という3つの属性の組合せによって表現します。

- ・色相（hue：略称H）は、色味を表します。

R（赤）、YR（黄赤）、Y（黄）、GY（黄緑）、G（緑）、BG（青緑）、B（青）、PB（青紫）、P（紫）、RP（赤紫）の10色相を基本色相としています。さらにその色味の度合いによって各色相を10分割して表します。これらは、色相の循環性に基づいて円環上に配置されます。（マンセル色相環：図1参照）。J I S 標準色票では、各色相ごとに2.5、5、7.5、10の全40色相を採用しています。

- ・明度（value：略称V）は、明るさの程度を表します。

理想的な黒を0、理想的な白を10とし、10段階に分割して表します。実現できる1.0～9.5までの範囲が色票化されています。暗い色ほど数値が小さく、明るい色ほど数値が大きくなります。

- ・彩度（chroma：略称C）は、色味の強さ（鮮やかさ）を表します。

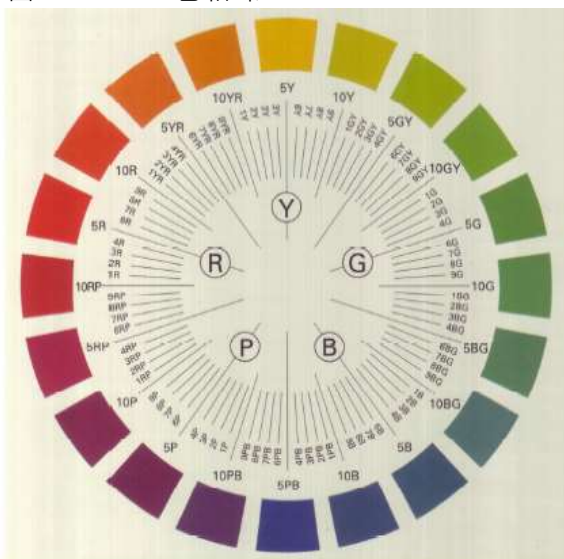
無彩色を彩度0として、色味のない鈍い色彩ほど数値が小さく、鮮やかな色彩ほど数値が大きくなります。最高彩度は色相によって異なっています。

- ・マンセル値は、これら3つの属性を組合せて表記します。また、等色相面（図2）に表されます。

有彩色の場合：色相・明度・彩度の順に表記します。（例 $\frac{5R}{5} / \frac{8}{5}$ ）
色相 明度 彩度

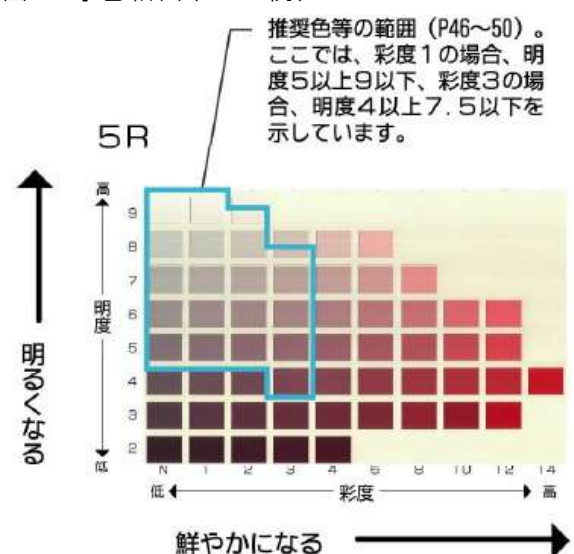
無彩色の場合：ニュートラルを表すNの後に明度をつけて表記します。（例 $\frac{N}{5}$ ）
無彩色 明度

図1：マンセル色相環



（出典：日本色研事業（株）「カラーコーディネーター入門 色彩 増補版」）

図2：等色相面（5Rの例）



●推奨色について

彩度の高い色彩は、誘目性が高く非常に目立つため、高彩度色の多用は景観全体の調和を乱すことになります。一方、低彩度色の大面积に配色された小面積の高彩度色は、全体を引きしめたり、視点を集中させて単調さを改善する効果があり、にぎわいや個性を演出することができます。

そこで、建築物等の色彩の面積配分に応じて、市全域及び景観形成強化区域ごとにふさわしいと考えられる推奨色を次項以降に示します。また、行為の制限による色彩の基準（使用可能な色彩の範囲）も示しますので、第6章の「2. 景観形成基準」（P55）もあわせて確認してください。

・メインカラー

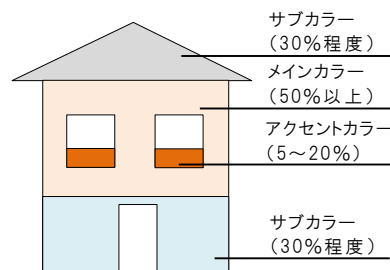
建築物等の見付面積（P54※2参照）のうちおおむね50%以上の面積を占める色彩

・サブカラー

建築物等の見付面積のうちおおむね30%程度の面積を占める色彩

・アクセントカラー

建築物等の見付面積のうち5%～20%の範囲内で使用される色彩
（推奨色の指定はありませんが、使用可能な色彩以外の色彩を用いる場合は、各区域の基準割合にしたがってください。→P55参照）



●色彩の選定について

色彩の選定にあたっては、周辺の自然やまちなみと調和するよう、以下の点にも配慮をお願いします。

・周囲の建築物との調和

大面积に用いる色は暖色系（R、YR、Y）、中～高明度・低彩度色とし、まちなみや隣接する建築物の特徴に合わせた色彩となるよう配慮しましょう。

・色彩の数とアクセント

むやみに多数の色彩を使用することは控え、アクセントとして彩度が高めの色彩を使用する場合は、メインカラー、サブカラーとの調和に配慮しましょう。

・色彩の検討

色彩を検討する際には、周囲の景観との調和を図るために、景観シミュレーションの実施や大型の色見本の用意などを行い、慎重に色彩を選定しましょう。

・自然素材と緑化

色彩の選定とあわせて、自然素材そのものが持つ色の活用や、接道部や屋上の緑化などにより、快適な景観を創出するよう配慮しましょう。

・安全性への配慮

周辺にある信号や交通標識などの誤認や見落としにつながるような色彩の使用は避けましょう。

●トーンを基準とした配色

本計画書では、PCCS（日本色研配色体系）のトーンを用いて推奨色を選定しています。

トーンとは、明度と彩度の複合概念で、色の調子のことです。トーンは色の見えの印象を形容詞によって分類し表示します。色相とトーンを用いて配色調和を得られることから、色彩計画をする際に有用なカラーシステムです。

トーン記号一覧

W	ホワイト	白
ltGy	ライトグレイ	明るい灰色
mGy	ミディアムグレイ	灰色
dkGy	ダークグレイ	暗い灰色
Bk	ブラック	黒
P	ペール	薄い
ltg	ライトグレイッシュ	明るい灰みの
g	グレイッシュ	灰みの
dkg	ダークグレイッシュ	暗い灰みの
lt	ライト	浅い
sf	ソフト	柔らかい
d	ダル	鈍い
dk	ダーク	暗い
b	ブライト	明るい
s	ストロング	強い
dp	ディープ	濃い
v	ビビット	さえた

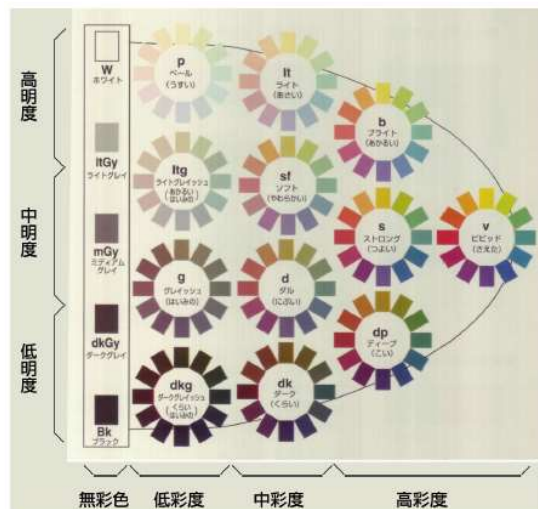


図3:トーン分類

（出典：日本色研事業（株）「カラーコーディネーター入門 色彩 増補版」）

●市全域

①色彩選定の考え方

自然環境や周辺のまちなみと調和した景観となるような色彩を選定しましょう。

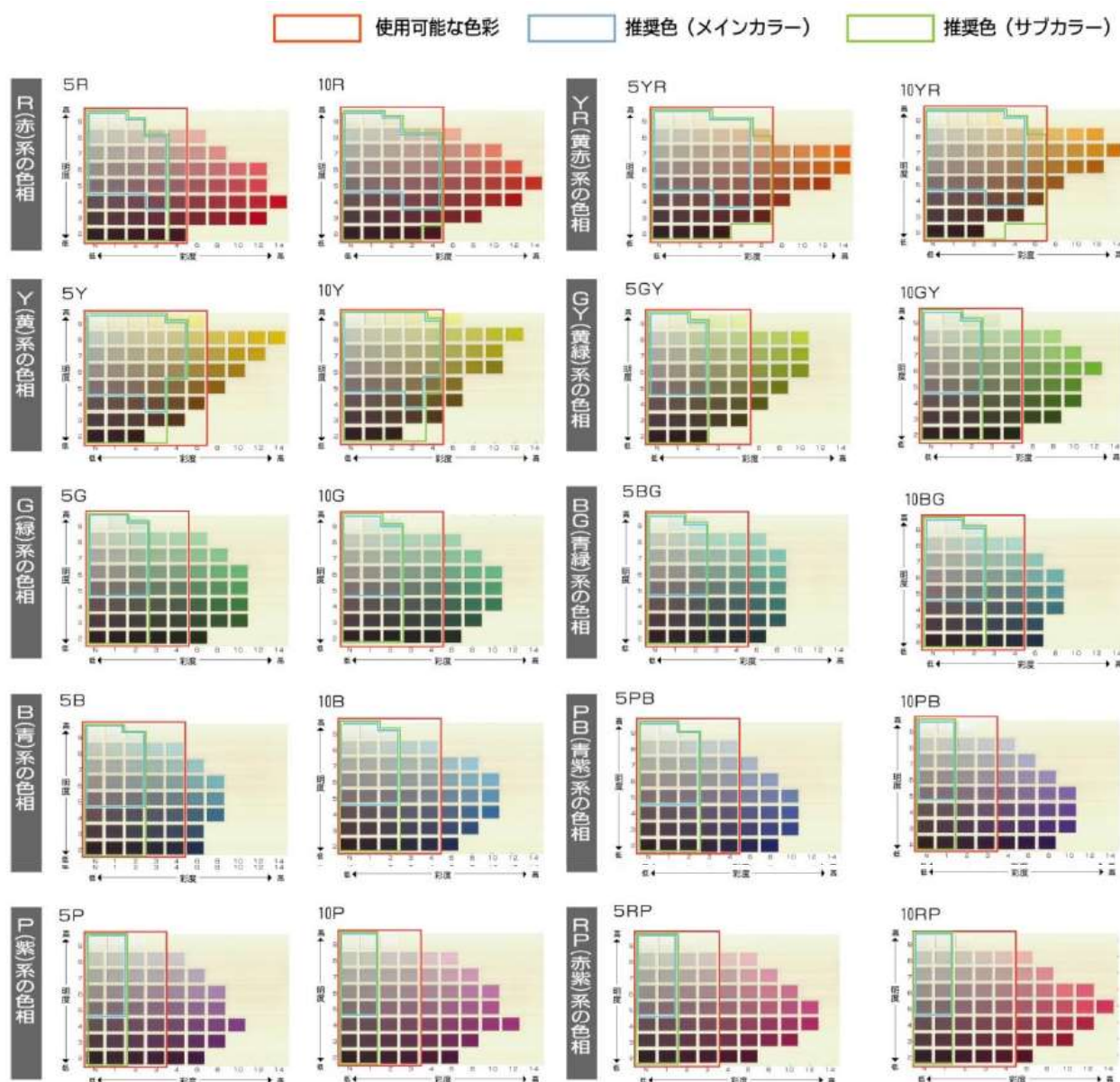
- ・メインカラー、サブカラーには、低彩度の落ち着いた穏やかな色彩を使用しましょう。
- ・彩度の高い色彩は、誘目性が高く景観に与える影響が大きいため注意して使用しましょう。

②トーンを基準とした推奨色の範囲

(P 49 図 3 参照)

	無彩色	低彩度色	中彩度色
メインカラー	W ltGy mgY	P ltg g	Lt Sf
サブカラー	dkGy		d dk

③推奨色の範囲



※自然素材やコンクリート、れんが等の素材色は除外する。

※印刷による色再現のため、実際の色とは若干異なります。

●北上川・展勝地

①色彩選定の考え方

この区域の特徴となる空、山並み、桜並木、川面、護岸など、主に自然の色を生かす色彩景観を目指します。

- ・自然景観と融和する色を選びましょう。

自然素材の色を基本に色を通じて調和しやすい暖色系（YR、Y）の色を選びましょう。

- ・背景との関係に配慮して色を選びましょう。

山側の建物には、明度の低い色をおすすめします。川側の建物は、川面のコントラストが生まれるように、明度の高い色をおすすめします。

- ・春の桜並木が映えるような色を選びましょう。

桜の花色と同系色でうすいトーンの色は避けましょう。

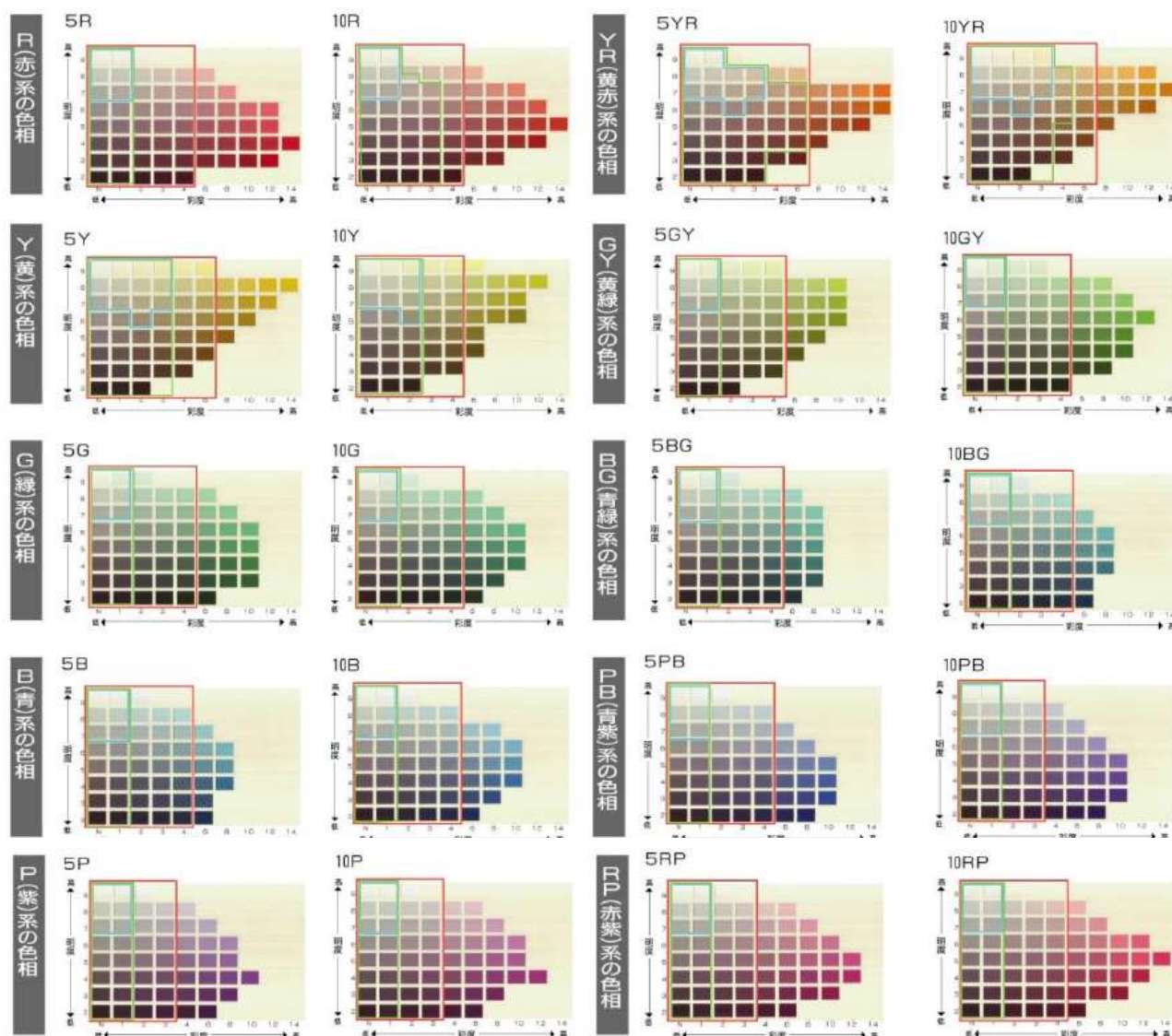
②トーンを基準とした推奨色の範囲

（P 49 図 3 参照）

	無彩色	低彩度色	中彩度色
メインカラー	W ltGy	P ltg g	
サブカラー	mGy		sf d

③推奨色の範囲

使用可能な色彩 推奨色（メインカラー） 推奨色（サブカラー）



※自然素材やコンクリート、れんが等の素材色は除外する。

※印刷による色再現のため、実際の色とは若干異なります。

●和賀川・清水

①色彩選定の考え方

この区域の特徴となる空、山並み、樹木などの植生、田園、桜並木、川など、自然・農村の色を生かす色彩景観を目指します。

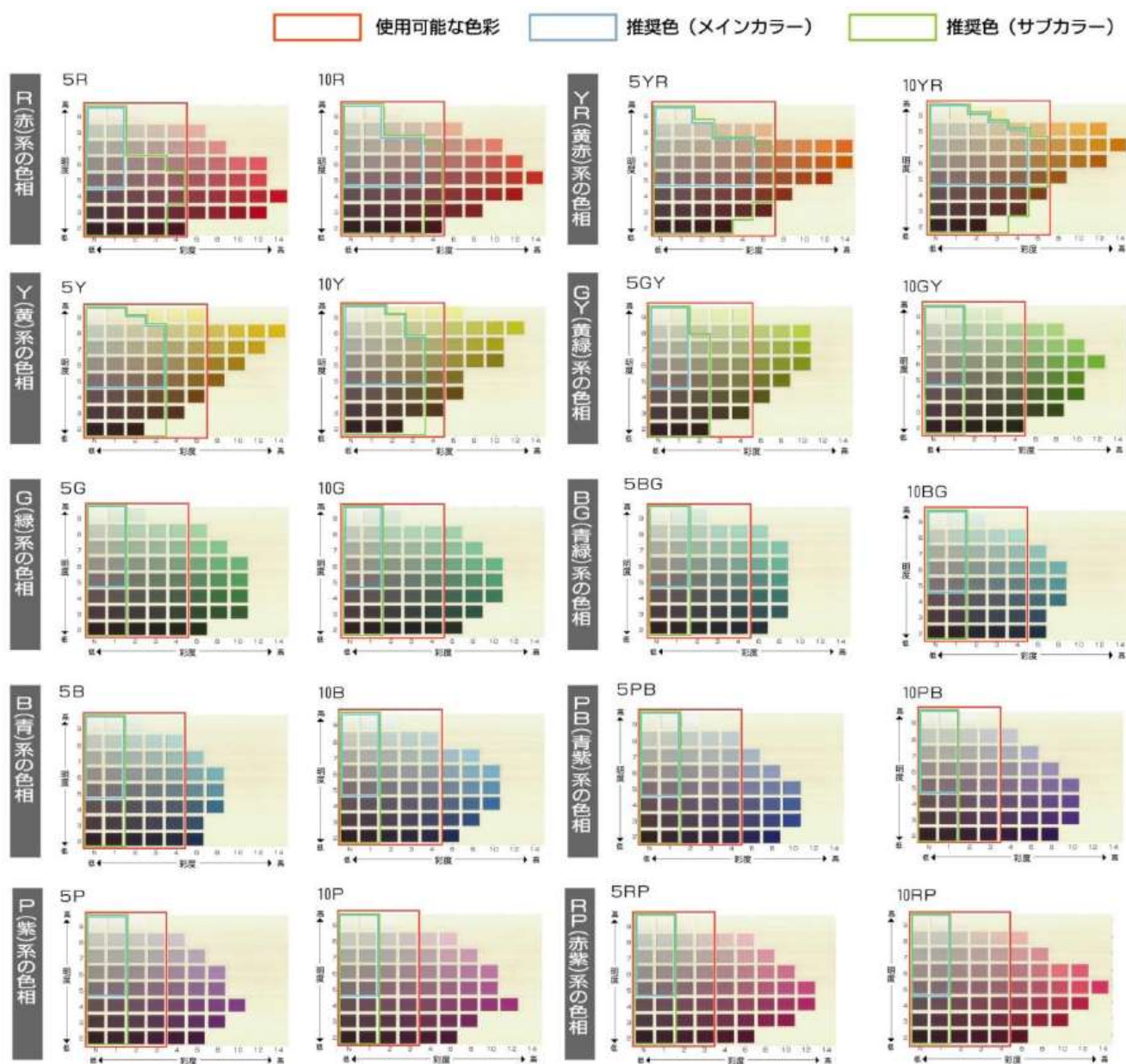
- ・周辺の樹木や田園風景の季節変化による色彩の移ろいに融和する色を選びましょう。
- 自然素材の色を基本に暖色系（R、YR、Y）の色をおすすめします。
- 自然や農村景観においては、樹木より彩度が高い色や有彩色のクリアな明るい色は避けましょう。

②トーンを基準とした推奨色の範囲

（P 49 図 3 参照）

	無彩色	低彩度色	中彩度色
メインカラー	W ltGy mgY	ltg g	d
サブカラー	dkGy		sf d dk

③推奨色の範囲



※自然素材やコンクリート、れんが等の素材色は除外する。

※印刷による色再現のため、実際の色とは若干異なります。

●大通り

①色彩選定の考え方

整然としたまちなみの中にもにぎわいを感じるような色彩景観を目指します。

- ・色域を広く設定していますが、使用する色彩には周囲の建物との共通性によって、全体としてのまとまり感をつくるように配慮しましょう。
- ・メインカラーには低彩度の色彩を使用し、低層部にはやや彩度が高い色彩を効果的に配することで、にぎわいを演出するような色使いとしましょう。

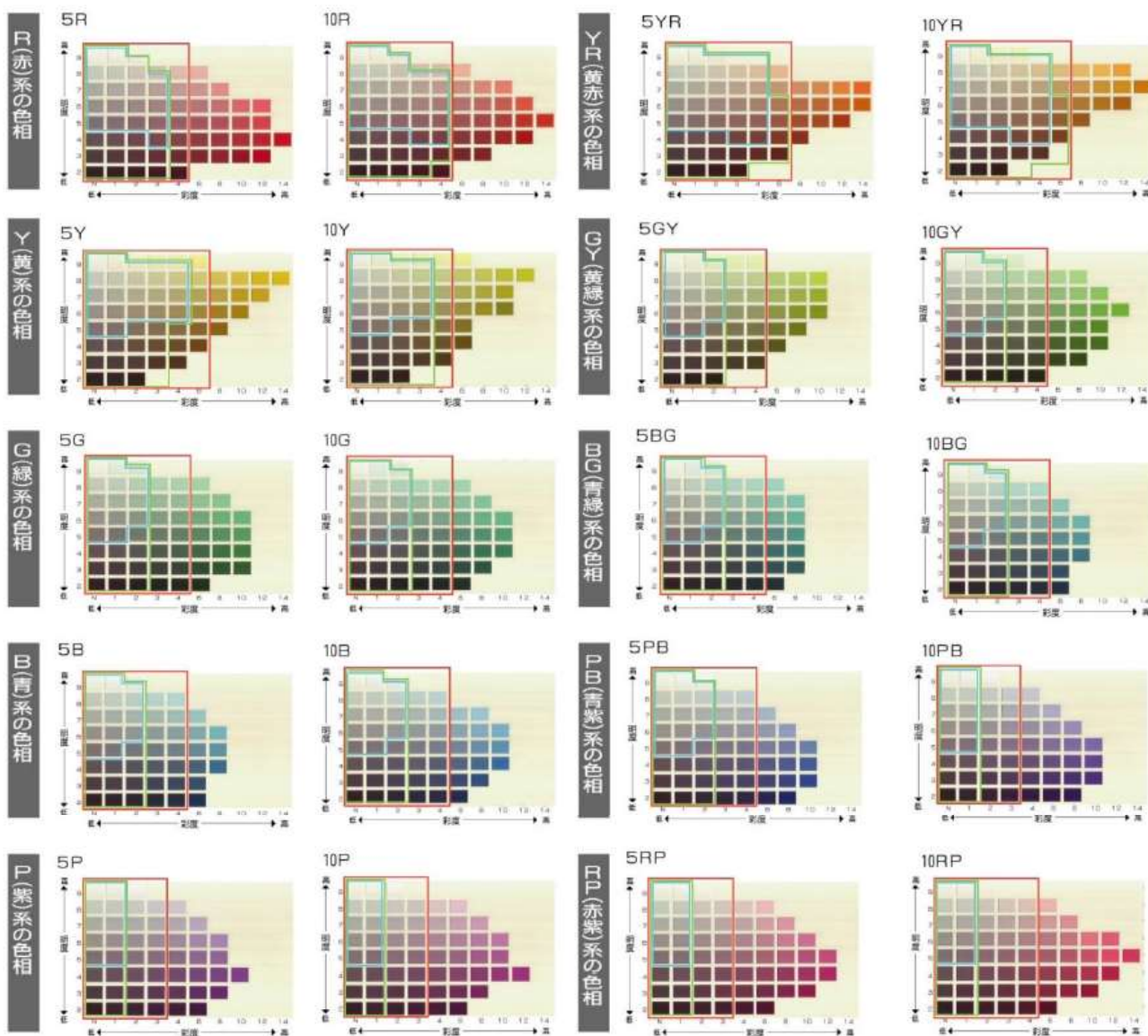
②トーンを基準とした推奨色の範囲

(P 49 図 3 参照)

	無彩色	低彩度色	中彩度色
メインカラー	W ltGy mGy	p ltg g	Lt Sf
サブカラー	dkGy		d dk

③推奨色の範囲

使用可能な色彩 推奨色（メインカラー） 推奨色（サブカラー）



※自然素材やコンクリート、れんが等の素材色は除外する。

※印刷による色再現のため、実際の色とは若干異なります。

● 広瀬川

① 色彩選定の考え方

まちなみの中に華やかさやにぎわいを感じるような色彩景観を目指します。

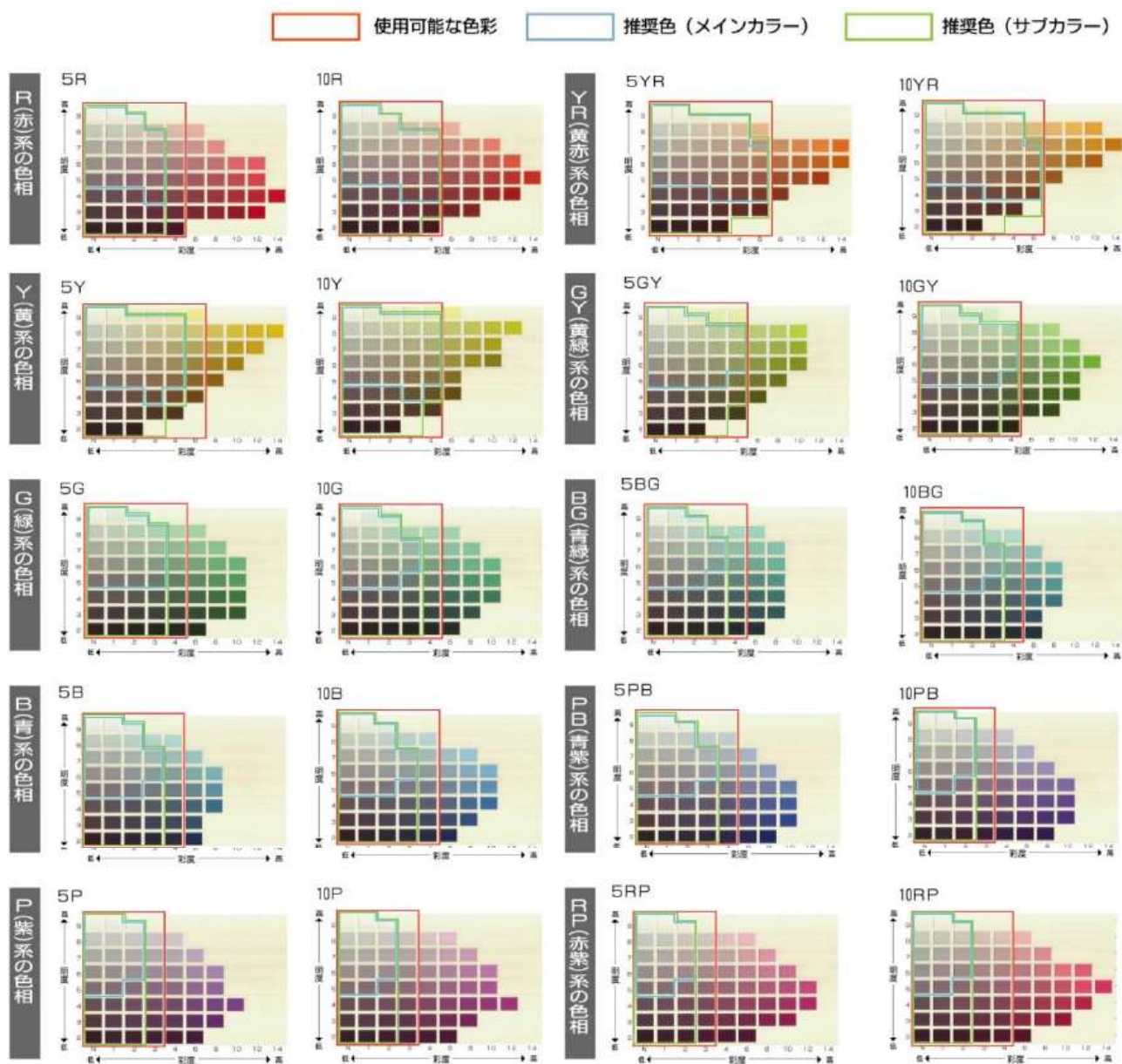
- ・色域を広く設定していますが、使用する色彩には周囲の建物との共通性によって全体としてのまとまり感をつくるように配慮しましょう。
- ・華やかさは彩度の高い色彩で表現できますが、メインカラー、サブカラーとの色彩調和を考慮して選びましょう。

② トーンを基準とした推奨色の範囲

(P 49 図 3 参照)

	無彩色	低彩度色	中彩度色
メインカラー	W ltGy mGy	p ltg g	lt sf d
サブカラー	dkGy		dk

③ 推奨色の範囲



●推奨色の範囲

P 49～P 54 に示した推奨色の範囲を数値
で一覧表にまとめました。

※凡例 色相の範囲(Rの例)

2.5R:2.5R以上 5R 未満

5R :5R以上 7.5R 未満

7.5R:7.5R以上 10R 未満

10R:10R以上 2.5YR 未満

C:彩度

C1:0.75以上 1.5 未満

C2:1.5以上 2.5 未満

C3:2.5以上 3.5 未満

C4:3.5以上 5.0 未満

C6:5.0以上 7.0 未満

V:明度

V2～9:サブカラー

(V5～9):メインカラー

●市全域

色相	C1	C2	C3	C4	C6
R	2.5R	V2～9(V5～9)	V2～8.5(V5～8.5)		
	5R	" (")	" (")	V2～7.5(V4～7.5)	
	7.5R～10R	" (")	" (")	" (")	V3～7.5(V4～7.5)
YR	2.5YR	" (")	" (")	V2～8.5(V4～8.5)	V3～8.5(V4～8.5)
	5YR	" (")	V2～9(V5～9)	" (")	" (")
	7.5YR～10YR	" (")	" (")	V2～9(V4～9)	" (")
Y	2.5Y	" (")	V2～9(")	" (")	" (")
	5Y～10Y	" (")	" (")	" (")	V5～7
GY	2.5GY～10GY	" (")	V2～8.5(V5～8.5)		
2.5G～5PB	" (")	" (")			
7.5PB～10RP	" (")				
N	V1～9(V5～9)				

●北上川・展勝地

色相	C1	C2	C3	C4	C6
R	2.5R～5R	V2～9(V7～9)			
	7.5R	" (")	V2～5.5		
	10R	" (")	V2～7.5		
YR	2.5YR	" (")	V2～8(V6～8)	V2～8(V7～8)	V4～6.5
	5YR	" (")	" (")	" (")	V4～7
	7.5YR	" (")	V2～9(V6～9)	V2～8.5(V7～8.5)	V4～8
	10YR	" (")	" (")	V2～9(V7～9)	V4.5～8
Y	2.5Y～5Y	" (")	" (")	" (")	
	7.5Y～10Y	" (")	" (")		
2.5GY～10RP	" (")				
N	V1～9(V7～9)				

●和賀川・清水

色相	C1	C2	C3	C4	C6
R	2.5R	V2～9(V5～9)	V2～6		
	5R	" (")	" (")	V2～6	V4～5
	7.5R	" (")	V2～7(V5～7)	"	
	10R	" (")	" (")	V2～7(V5～7)	V4～6.5
YR	2.5YR	" (")	V2～8(V5～8)	" (")	V3～7(V5～7)
	5YR	" (")	" (")	" (")	" (")
	7.5YR	" (")	V2～8.5(V5～8.5)	V2～7.5(V5～7.5)	V3～7.5(V5～7.5)
	10YR	" (")	" (")	V2～8(V5～8)	" (")
Y	2.5Y	" (")	" (")	" (")	V5～7.5(")
	5Y～7.5Y	" (")	" (")	" (")	
	10Y	" (")	" (")	V2～7(V5～7)	
GY	2.5GY	" (")	V2～8		
	5GY	" (")	V2～7.5		
7.5GY～10RP	" (")				
N	V1～9(V5～9)				

●大通り

色相	C1	C2	C3	C4	C6
R	2.5R	V2～9(V5～9)	V2～8.5(V5～8.5)		
	5R	" (")	" (")	V2～7.5(V4～7.5)	
	7.5R～10R	" (")	" (")	" (")	V3～7.5(V4～7.5)
YR	2.5YR	" (")	" (")	V2～8.5(V4～8.5)	V3～8.5(V4～8.5)
	5YR～10YR	" (")	" (")	" (")	" (")
Y	2.5Y	" (")	" (V6～8.5)	" (")	" (")
	5Y	" (")	" (")	" (V6～8.5)	V6～8.5(V6～8.5)
	7.5Y～10Y	" (")	" (")	" (")	
2.5GY～5PB	" (")	" (")			
7.5PB～10RP	" (")				
N	V1～9(V5～9)				

●広瀬川

色相	C1	C2	C3	C4	C6
R	2.5R	V2～9(V5～9)	V2～8.5(V5～8.5)		
	5R	" (")	" (")	V2～7.5(V4～7.5)	
	7.5R～10R	" (")	" (")	" (")	V3～7.5(V4～7.5)
YR	2.5YR	" (")	" (")	V2～8.5(V4～8.5)	V3～8.5(V4～8.5)
	5YR～10YR	" (")	" (")	" (")	" (")
Y	2.5Y	" (")	" (")	" (")	" (")
	5Y～10Y	" (")	" (")	" (")	V4～7(V4
GY	2.5GY	" (")	" (")	" (")	" (")
	5GY～10GY	" (")	" (")	V2～8(V5～8)	V4～8(V6～8)
2.5G～5G	" (")	" (")	" (")		
7.5G～5PB	" (")	" (")	V2～7(V6～7)		
7.5PB～10RP	" (")	" (V6～8.5)			
N	V1～9(V5～9)				

3. 行為別の配慮事項

市内全域共通の配慮事項を行為別に示します。建築物の建築等の行為を行う際は、届出の対象とならない場合であっても、これらの事項を参考にしながら周辺の景観への配慮を心がけましょう。

●行為別配慮事項		
行為区分	項目	配慮事項
建築物及び工作物の新築・増築・改築・外観の変更等	位置及び規模	地域の人々に親しまれているランドマーク(目印・シンボル)や良好な景観の眺望を妨げることのないよう敷地内での位置及び規模に配慮する。
		文化財やきたかみ景観資産等の周辺への大規模な建築物や工作物の建設はできるだけ避ける。
		山並みへの眺望の確保のため、りょう線を断ち切らないよう敷地内での位置及び規模に配慮する。
		道路、河川等の公共空間に接する部分のスペースの確保や植栽等により、歩行者等への圧迫感、威圧感の緩和に配慮する。
	形態及び意匠	周辺の自然やまちなみ等との調和に配慮した形態・意匠とする。
		外壁や屋上に設ける設備は露出させないように配慮する。やむをえず露出させる場合は、目立たないような位置に設置する等の措置を講じる。
		屋外階段やベランダ等は建築物と一体感のある構造・意匠とする。
		低層部のデザインは、歩行者等に対する快適性の創出に配慮したものとする。
	色彩	周辺の自然やまちなみ等との調和に配慮した色彩とする。工作物について、やむをえず突出した色彩となる場合は、自然素材を生かした囲い等による修景の措置を講じる。
		素材
	敷地	汚れや老朽化が目立たないような素材を用いる。
		敷地内はできるだけ緑化し、うるおいのある景観の創出に配慮する。
	その他	景観上優れた既存樹木がある場合は、できるだけ保存や移植により修景に活用する。
		敷地内に屋外駐車場を設置する場合は、場内や境界部を緑化等により修景し、まちなみの連続性の確保や隣接する敷地との調和に配慮する。
		建築物に附帯する広告物は、できるだけ建築物と一体化させる。
		建築物の外壁に壁面広告物を設置する場合は、外壁のアクセントカラーの使用割合を考慮し、壁面全体として高彩度の色彩の使用面積が大きくならないよう配慮する。
		広告物は、できるだけ規模が大きくならないよう配慮する。また、周辺の自然やまちなみにふさわしい形態や色彩、素材に配慮し、照明については、派手な色彩や激しい点滅を避ける。
		自動販売機の色彩は、周辺の自然やまちなみ等との調和に配慮し、やむをえず突出した色彩となる場合は、自然素材を生かした囲い等による修景の措置を講じる。
		自動販売機を複数台並べた状態で設置する場合は、統一した色彩等、周辺の自然やまちなみ等に調和したものを設置させる。
		既存の建築物は、できる限り汚れや老朽化が目立たないような管理に努める。
		建築物及び工作物の撤去後の跡地は、周辺の自然やまちなみと調和するよう修景に配慮する。
太陽光発電施設の新設・増設・改設・外観の変更等	位置及び規模	太陽光パネルの向きや傾斜をそろえ、配列に統一感のある配置を行う。
		山の斜面に設置する場合は、太陽光パネル単一による圧迫感や人工物の存在感を軽減させるため、太陽光パネルの分散配置やパネル周辺に樹木を設置する。
		稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避け、やむを得ない場合は尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないように、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。
		文化財やきたかみ景観資産との接近を避ける、もしくは、樹木等による緩衝帯を設ける。
		周囲からの視界をできる限り遮らないよう、設置高さは最低限とする。
		主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から1m以上後退させる。
	形態及び意匠	太陽光パネルの材質は、低反射性のものを使用する。
		太陽光パネルの模様が目立たないものを使用する。
	色彩	太陽光パネルの色彩は、黒や濃紺を基本とした低彩度(3未満)の目立たないものを使用する。
		道路等から容易に望見できる場所(道路沿い、斜面等)に設置する場合は、太陽光パネルのフレームの色彩についても、低彩度の目立たないものとする。
	形状及び緑化	附属設備についても周辺の景観と調和した色彩とし、低彩度で統一する。
		樹木の伐採は必要最低限とする。
開発行為	形状及び緑化	敷地内の緑化を行い、地表面の露出を最低限とする。
		道路沿いや建物等と隣接する場合は、太陽光発電施設の目隠しとなるよう、境界付近に樹木や塀等による遮へいを行う。
		太陽光発電施設及び敷地内は、定期的に保守点検を行うなど適切に維持管理し、時間的経過に伴う景観悪化を防ぐ等維持管理に努める。
		太陽光発電施設を廃止する際の適切な撤去・処分について計画行うとともに、廃止の際は速やかに撤去を行い、原状復帰に努める。
開発行為	形状及び緑化	できるかぎり長大な法面、擁壁が生じないようにし、圧迫感、威圧感の緩和に配慮する。
		法面はできるだけ緑化可能な勾配とし、緑化による修景を配慮する。

行為区分	項目	配慮事項
土石の採取	遮へい	土石の採取の場所が道路等から見えないよう、できるだけ植栽や塀等による遮へいを行う。また、既存樹木がある場合は、それらの保全による遮へいを心がける。
	採取後の措置	土石の採取等による跡地は緑化による修景に配慮する。
屋外における 土石・廃棄物の 堆積	堆積の方法	道路等の公共空間からできる限り離れた位置に整然と堆積する。
	遮へい	堆積の場所が道路等の公共空間から見えないよう、樹木や塀等による遮へいを行う。
木竹の伐採	緑化	伐採は必要最小限とし、伐採後は緑化による修景に配慮する。

※第6章（P58～）の行為の制限に関する事項も参照してください。